


平成25年度 都立学校・学校経営シート

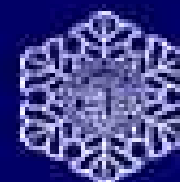
校章		都立白鷗高等学校・附属中学校		併設型	中学			高校								
		《世界へ羽ばたくリーダーたちの学び舎》 －伝統から未来へ－				基 本 情 報	入学 選 抜 情 報	募集人員	特別枠16人程度・特別枠を差引く(男女各80人)計160人			推薦:男子8人・女子8人、一般:男子32人・女子32人				
基 本 情 報	所在地	〒111-0041(西校舎)・111-0041(東校舎) 台東区元浅草1-6-22(西校舎)・元浅草3-12-12(東校舎)		電話 番号	03-3843-5678 03-5830-1731		本 情 報	募集倍率	23年度	24年度	25年度	23年度		24年度		25年度
	アクセス	(1) 大江戸線・つくばエクスプレス 新御徒町駅下車徒歩5分 (2) 銀座線 稲荷町駅下車徒歩7分 (3) JR御徒町駅徒歩13分			男子	6.46			6.2	6.86	推薦	一般	推薦	一般	推薦	一般
本 情 報	特色ある 教育活動	① 日本の伝統と文化を知り、日本人としてのアイデンティティを確立する			男子	6.46	6.2	6.86	2.05	1.37	2.95	1.95	5.88	1.42		
		② 国語、英語によるプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力の向上をはかる				女子	8.68	8.94	9.24	特別枠4.13	特別枠7.86	特別枠6.0	704人(男子・340人、女子・364人)			
報	(学校設定科目等)	③ 国際理解教育の推進により異文化理解を促進する			制服		男子・詰襟(紺)	体育祭(5月)・文化祭(10月)・合唱祭(2月)を合同で実施		海外短期留学(4年次)・海外修学旅行(マレーシアで5年次)・勉強合宿(5年次)						
		④ 個を尊重したきめ細かな教育の展開			女子	女子・ブレザー(紺)	制服		男子・詰襟(紺)	長唄・三味線、和太鼓、水泳(22年度インターハイ)、百人一首(全国大会)						
報	(学校設定科目等)	⑤ 地域の教育資源を活用したキャリア教育の推進			自律経営推進予算 25年度(単位:万円)		2,132	その他	生徒入学満足度81.4%、保護者同満足度96.2%、地域の肯定評価86.5%							
		⑤ 地域の教育資源を活用したキャリア教育の推進			学校評価		生徒入学満足度81.4%、保護者同満足度96.2%、地域の肯定評価86.5%									
目指す学校		中高一貫教育校として、将来国際社会の様々な分野でリーダーとなれる人材の育成を目指す。そのため、6年間で自らを鍛え、幅広い異年齢集団で人間性、社会性を養い、個性豊かで「開拓精神」に富んだ人格の涵養を図る。														

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価		次年度以降の取組	
目 標 ①	①進路指導の充実と生活指導の徹底 附属中学 ①基礎基本の徹底と自宅学習を含む学習の習慣化を図る。 ②規則正しい学校生活と生活指導の徹底。 高等学校 ③難関大学等への進学実績向上に向けた各教科の授業力の向上。 ④進路意識を高める講演会の実施。	各学年が年間実施計画に基づいて、模擬試験や実力考査等は予定通り実施した。勉強合宿には120名位の生徒が参加するなど、進学に向けた意識付けができた。生徒のチューターの活用に偏りがあったので、今後、人選等に関して検討する。難関国立大学合格者は9名(現役7名、浪人2名)であった。		①進学実績向上に向け、各教科の授業力を一層向上させること。 ②進路意識を啓発する講演会の継続実施。 ③進路指導と生活指導の一体化を図ること。 ④チューターのより効果的な活用を図ること。	
目 標 ②	②国際交流の拡大 ①マレーシアの学校との姉妹校締結に向けた学校交流の継続 ②マレーシアの大学生との交流 ③短期海外語学研修の継続と受け入れ校(4校)との交流の深化 ④海外からの留学生の受け入れ	ここ数年修学旅行で交流していたマレーシアの学校の都合もあり、今年度は新たな学校との交流を実施した。校長を始め友好ムードが漂う中での交流であった。また、オーストラリアの高校とは姉妹校締結を結んだが、情報交換などは十分行うことはできなかった。海外からの留学生の受け入れはなかった。		①マレーシアの学校との学校交流の継続 ②マレーシアの大学生との交流 ③短期海外語学研修の継続と受け入れ校(4校)との交流の深化を図ること ④次世代育成リーダーを活用し、海外留学の推進を図る。	
目 標 ③	③地域連携と伝統文化の理解と継承 ①日本文化概論の継続実施 ②地域連携の継続 ③伝統文化理解のための学校行事及び学年行事の充実 ④音楽の授業を通して和楽器の理解と習得	日本文化概論では、専門家による茶道・華道・書道・囲碁・将棋の指導を通して、日本文化の理解・尊重を深化させることができた。また、地域との連携を図りながら伝統文化にも触れ(浅草流鏑馬、時代祭り、鳥越神社祭礼等)、理解を深めることができた。		①日本文化概論の5分野の継続実施と三味線の新規導入 ②地域連携の継続(宿泊防災訓練等) ③伝統文化理解のための学校行事の充実	

数 値 目 標	今年度の数値目標の内容	22年度		23年度		24年度		今年度		26年度	27年度	28年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	難関国立大学合格者	10	10	10	8	10	8	10	9	10	10	10
目標②	国公立大学・私立難関校への実質進学者数	国公立90	46	80	67	80	63	80	66	80	80	80
目標③	年間の学年平均皆勤者数	学年50名	44.5名	学年50名	46.3名	50	40名以上	50	60	50	50	50

都立白鷗高等学校・附属中学校

「伝統から未来へ」



日本の
伝統文化理解
「日本文化概論」

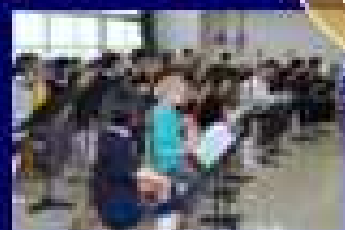


世界で活躍する
リーダーの育成



国際理解

「海外修学旅行」
「海外短期留学」
「留学生との交流」



確かな
学力の育成

「辞書は友達、予習は命」

◆平成25年度卒(4期生)が
難関国公立大学に現役合格
東京大学 5名
東京工業大学 1名
一橋大学 1名

◆6年間の系統的進路指導

◆落ち着いた学習環境

◆丁寧な進路指導と
熱心な学習指導